

## サルデーニャ

カズ・クラウディア

サルデーニャはイタリアの州の一つで、無数の小さな島と、地中海に囲まれた、右の足跡のような形をしている大きな島です。イタリアの一番西にあり、一年はほとんど好天に恵まれています。地中海性気候の影響のため、春と秋は暖かく、夏は暑いです。冬は寒く、高地の山では11月には冠雪（かんせつ）します。サルデーニャの大地は約80%が山地で、森林が多いです。また、約68%は丘や高原などで、13.6%は古い岩山で占められています。一番高いは1.834メートルのPunta La Marmora という頂上です。面積は約2万4千平方キロメートル、人口は約1650人で、1平方キロメートル当たりの人口密度は約69人です。人口の多くはカリアリ、サッサリ、ヌーオロ、オリストアーノなどの町に集中しています。

サルデーニャは、海の澄んだ水と広くて真っ白な砂浜、また海に切り立つ絶壁の海岸で有名です。歴史ある都会的な州都カリアリ、音楽文化やお祭りでも有名な島第2の都市サッサリ、島の中央部にあるヌラーゲと呼ばれる石を積重ねた先史時代の遺跡など、サルデーニャはどこも個性的です。特に、私のお勧めはサルデーニャの北西にある12世紀にジェノヴァ人に建設されたアルゲーロという有名な港町です。14世紀になって、アラゴン・カタルーニャ連合によって占領されて以来、カタルーニャ各地からの入植者で人口が増え、カタルーニャ語やカタルーニャ風の建築が今までに残るようになっています。町を一回りすると、施設の看板がカタルーニャ語とイタリア語で併記されているのが分かります。

アルゲーロは、金の線細工と珊瑚の手作り宝石で有名です。しかし、最近は珊瑚採りの後継者不足に悩んでいます。海は透明で美しく、砂浜は真っ白で、素晴らしい海岸が何キロメートルも見渡せません。5月からダイビングなどのマリンスポーツもできるし、夏の祭やイベントなどが続いて、本格的なリゾート気分が味わえます。